



椿

NAOだより

編集発行人

NAO税理士法人

代表社員

赤堀安宏

〒500-8335

岐阜市三歳町4-2-10

TEL 058(253)5411(代)

FAX 058(253)6957

12月

(師走) DECEMBER

日	・	14	28
月	1	15	29
火	2	16	30
水	3	17	31
木	4	18	・
金	5	19	・
土	6	20	・
日	7	21	・
月	8	22	・
火	9	23	・
水	10	24	・
木	11	25	・
金	12	26	・
土	13	27	・

12月の税務と労務

- 国 税**／給与所得者の年末調整
今年最後の給与を支払う時
- 国 税**／給与所得者の次の申告書の提出
 - ・基礎控除申告書 兼 配偶者控除等申告書 兼 特定親族特別控除申告書 兼 所得金額調整控除申告書
 - ・保険料控除申告書
 - ・住宅借入金等特別控除申告書
 今年最後の給与を支払う前日
- 国 税**／11月分源泉所得税の納付
12月10日
- 国 税**／10月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等)1月5日
- 国 税**／4月決算法人の中間申告
1月5日
- 国 税**／1月、4月、7月決算法人の消費税の中間申告(年3回の場合)
1月5日
- 地方税**／固定資産税(都市計画税)第3期分の納付
市町村の条例で定める日
- 労 務**／健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届
支払後5日以内

ワンポイント G ビズ ID

補助金申請や社会保険手続、各種認可申請など、対応した手続に1つのID・パスワードでログインできる事業者向け共通認証システム。今後、法人についてGビズIDを用いてe-Taxにログインすることが可能となる予定です。なお、この場合には電子署名や電子証明書の送信不要で手軽に利用できるようになります。



ユースエール認定制度

ユースエール認定制度とは、若者が安心して働き続けることができる企業を、厚生労働大臣が認定する制度のことです。

昨今は、終身雇用制や会社への忠誠心といった考え方は主流ではなくなり、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革といった言葉が重視される世の中になりました。若者の会社に対する価値観が変化し、自分の生活スタイルを保ちながら働くことができる職場が求められるようになっていきます。育児や介護などに加え、趣味や“推し活”などと両立しながら仕事をする人も増加しています。

その一方で、「ブラック企業」や「会社ガチャ」といった、敬遠される企業を表す言葉も次々と生まれています。

このような中、若者の採用や育成に対して積極的な姿勢を見せ、実際に働きやすい環境を整備している優良企業を国が認定し、広く周知する「ユースエール認定制度」が導入されました。採用活動の活性化や、優良企業を目指して環境整備に取り組む企業の増加を後押しして、企業の活性化や優秀な人材の確保を図ることが目的です。

なお、ユースエール認定を受けると、認定マークを

使用することができます。この認定マークは若葉の形をモチーフとしており、活力あふれる若者の手腕をイメージしてデザインされました。

ユースエール認定基準

ユースエール認定企業になるためには、国によって定められた認定基準を満たす必要があります。

認定基準は、法令違反がないことが前提のもと、さまざまな観点から設定されています。

例えば、新卒で正社員を継続採用していることや離職率が低いこと、残業時間が設定時間以内に収まっていること、有給休暇の取得率が基準以上であること、正社員の比率が一定水準以上であることなどが挙げられます。ただ単に若者をたくさん雇用すれば良いというわけではなく、入社した若者が十分に力を発揮できるような安定した職場環境を維持し続けることが求められます。

なお、ユースエール認定制度自体には有効期限はないものの、認定後も一年ごとに認定基準の適合確認を受けなければなりません。確認を受け基準を満たしていないと認められると、認定の取り消しが行われる場合があります。つまり、ユースエール認定を維持し続けるためには、認定基準を満

たし続けることが条件になるということです。

ユースエール認定制度のメリット

ユースエール認定企業になると、優良企業である旨を、より積極的にハローワークにアピールしてもらえするという利点があります。

例えば、新卒者の就職をサポートする「新卒応援ハローワーク」で求職者に向けて優先的に紹介されたり、国が運営する「若者雇用促進総合サイト」で認定企業として掲載されたりすることで、より多くの若者に企業の存在を知ってもらえることができます。

また、労働局やハローワークが行う「就職面接会」の案内を優先して受けることができるため、通常の採用活動に加えて正社員を希望する若者と直接顔を合わせる機会が増え、マッチングの可能性が増加するというメリットもあります。

さらに、ユースエール認定を受けることにより、自治体が実施する補助金や奨励金制度で優遇措置を受けることができる可能性があります。これから認定を目指す企業は、若者の採用や育成に関して職場環境の整備や向上に向けた取り組みに加え、企業を管轄する自治体で行われている補助金制度などの確認もしてみたいかがでしょうか。

プロポーザルとは

プロポーザル (proposal) とは、直訳すると「提案すること」「申し込みをすること」という意味です。ビジネスの場面では、世間に向けて公開されているさまざまなプロジェクトやアイデアに対して、参加を希望する会社や団体が、採用してもらうために作成する書類やプレゼンテーションを「プロポーザル」と呼びます。

プロポーザル方式

官公庁が実施する事業や業務委託などにおける発注方式のひとつが「プロポーザル方式（企画競争入札）」です。プロポーザル方式の主な流れは次の通りです。

- ① 発注者側である自治体などが、「〇〇事業を実施したい」という募集を行います。
- ② 自治体の募集要項を見て「〇〇事業をやりたい」と考えた企業がプロポーザル（提案書）を作成し提出します。
- ③ 〇〇事業の専門家などから成る審査委員が提案書の内容や企業情報、組織体制、これまでの実績、費用などを確認し、評価を行います。
- ④ 最も高評価を得た企業が選ばれます。

入札方式との違い

プロポーザル方式は「入札方式」と混同されやすいですが、その内容は大きく異なります。

入札方式の大きな特徴



は、「価格最重視」という点です。プロポーザル方式の場合、選定基準はプロポーザル（提案書）の内容です。価格のみならず、プロポーザル提出者の組織体制や企画力、立案力、実現力、実績など、さまざまな観点から選定されます。しかし、入札方式は「価格」のみが基準になるため、原則として最安値で提案をした企業が選定され、「オークション形式」に近い仕組みとなります。

入札方式は、例えば工事や物品を入手する場合など、企業ごとのアイデア力やマーケティング力など、企業力に左右されにくい事業に適しています。基準は価格のみなので公平を期しており、透明性の高さが求められる公共事業でも多く採用されている方式です。

その一方で、コストを抑えようとするあまり応募企業が提供するサービスの質が落ちる危険性があります。

また、落札価格が発注者の想定を下回ってしまう懸念点も見逃ごせません。

プロポーザル方式の メリット・デメリット

プロポーザル方式は、複数の作業や企画が混同する事業や、創造力が求められる事業に適していると言われています。発注者は、複数の企業の提案書を比較した上で自社に合ったパートナーを見つけることができるため、質の高い成果を出すことができる可能性が高まります。募集をかける際も、どのような事業を行いたいのか、どのような企業の協力を求めているかを自由な視点で決めることができるため、より発注者側の意図に沿った提案を集めることができます。

また、プロポーザル方式では提案書、プレゼンテーション審査会という二段階で選定をすることで、提案書の内容をどのように企業がアピールするかを、実際に顔を合わせて確かめることができるというのも大きな利点です。

その一方で、発注者側もより良い提案を目指すため、入札方式と比べて価格が吊り上がる可能性があります。また、審査までにまとまった時間を要する点もあらかじめ念頭に置いておく必要があります。さらに、「なんとなく興味がある」という理由で提案を受け入れてしまう危険を避けるためにも、発注者側は評価基準を事前に明確にしておくことが良いでしょう。

ドライ・ジャニュアリー

「忘年会続きでお酒の飲み過ぎが気になる」という方は、ドライ・ジャニュアリー（Dry January）に挑戦してみてもいかがでしょうか？ドライ・ジャニュアリーは「毎年1月にお酒を控える」というキャンペーンで、イギリスの慈善団体「Alcohol Change UK」が発祥といわれています。

イギリスはパブ文化の発祥地といわれているだけあり、特に年末のクリスマスシーズンは通常以上にお酒を摂取する機会が増えますが、近年は健康志向の高まりで、過剰飲酒時の健康障害の問題提起や適量飲酒を望む声がみられるようになりました。このような中、Alcohol Change UKは2013年に「新年からの1か月間に禁酒をしましょう」という、ドライ・ジャニュアリーを提唱しました。1か月の間アルコールを控えることで、自身がこれまでどのような飲酒生活を送っていたかを見直し、今後のアルコー

ルの楽しみ方を改めて考えるきっかけづくりにしてもらうことが目的です。健康面のみならず、アルコールにかかっている費用も含め、自分自身の生活スタイルを根本的に見直すことができる点にも特徴があります。

お酒の過剰摂取を控え、適度に楽しむ傾向は、日本でも広がっています。サントリーでは、適正飲酒の大切さを伝えるため「ドリンクスマイル」活動を行っています。また、アサヒビールでは、自分の身体や気分、状況にあわせてお酒を選ぶ「スマートドリンクング」を提唱しています。

年始は、新たな目標を掲げる人が多くみられます。健康な身体作りやダイエットを志し、ジム通いやジョギングを始める人も少なくないでしょう。新年にお酒を断ち、これからの生活を考察する「ドライ・ジャニュアリー」も、チャレンジの一つとして選択肢に入れてみてはいかがでしょうか。ただし、急な断酒による体調の変化や、断酒後の解放感による過剰飲酒にはご注意ください。

スクールトレーナー

スクールトレーナーとは、学校などの教育機関で児童に正しい運動の方法を教える人のことです。公益財団法人運動器の健康・日本協会では「認定スクールトレーナー制度」を運営しており、登録されているスクールトレーナーは理学療法士の資格を有していることが特徴です。

トレーニングの目的は、子供の運動機能の向上や、運動器の疾患・障害の予防で、校医や教員と連携しながら、子供が心身ともに健全に成長できるよう支援します。具体的には、運動の基本となる歩き方や走り方、怪我を防ぐための身体づくりなどを教えます。実際にスクールトレーナーが派遣された学校では、自分の身体の硬さなどを理解したり、ストレッチの効果を実感する生徒が多く見られました。子供の運動不足が問題視される中、スクールトレーナー制度は2024年に内閣府より公益目的事業として認定されました。今後も更に多くの教育機関で配置の拡大が見込まれています。

ロボットタクシー

ロボットタクシーとは、自動運転で走行するタクシーのことです。具体的には、人の手を介さず走行する「自動運転レベル4」以上の機能があり、運転手がいらない状態で走行するタクシーのことです。スマホアプリで呼び出しを行い、目的地で決済を行うことで利用ができます。ロボットタクシーのメリットは、何といってもタクシーードライバ

ーを雇う費用をカットできる点です。ドライバへの賃金を支払う必要がないため、通常のタクシーよりも低価格でタクシーを走らせることができます。また、郊外でタクシーードライバのなり手が少ない地域や、深夜などでも運行できるという点も大きな利点でしょう。その一方で、車体のコスト面や安全面の問題、事故発生時の責任の所在など、クリアすべき懸念点が存在することも実情です。